TAKASAGO

高砂香料工業株式会社
〒144-8721 東京都大田区蒲田 5-37-1
ニッセイアロマスクエア 17F

お問い合わせ先
経営企画部／EHS室
TEL：03-5744-0786　FAX：03-3730-6678
URL：http://www.takasago.com
E-mail：TIC@takasago.com

DBJ 環境格付
2010

当社は、平成 22年6月日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」と評価されました。

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001196
© 1996 Forest Stewardship Council

VEGETABLE OIL INK

Waterless Printing. Naturally.

TAKASAGO Social and Environmental Report 2012 高砂香料工業株式会社【社会・環境報告書 2012】

高砂香料工業株式会社【社会・環境報告書 2012】

TAKASAGO

Social and Environmental Report 2012

TAKASAGO
高砂香料工業株式会社

テクノロジーを通じて、豊かな生活づくりに貢献します。

高砂香料は、香料技術の最先端の研究を続けてまいりました。
テクノロジーを通じて、生活にうるおいをもたらす香料を創り出しています。
人や社会、地球環境との調和を図りつつ、
香料やファインケミカル分野の商品で、
お客様、株主、取引先、従業員等、
「ステークホルダー」とともに成長する企業を目指します。

編集方針

本年度より、従来の「環境報告書」を発展させ、「社会・環境報告書」としました。環境に対する取り組みはもちろん、社会や従業員とのかかわりについても、わかりやすくご理解いただけるような編集を心がけました。また、冊子では取り上げられなかった情報やデータなども、当社ウェブサイト上に掲載しています。

今後も皆様のご意見を頂戴しながら、活動内容の検証・改善を図り、発信・報告方法なども見直してまいります。

表紙について

高砂香料は、1920年創立以来、「香りで新しい価値を創造する」—その思いを繋いで最先端の研究と開発を続け、革新的で価値ある製品を創り出してきました。皆様の暮らしを支え、寄り添う、そして豊かな時間のための一助を担う企業でありたいと考えています。また、安全・安心で、心地よく過ごすことができる持続可能な社会の実現に力を注いでいきます。

「香り」が、皆様の暮らしの一瞬に、たおやかに香ることを願い、明治時代の香炉を表紙に選びました。

四季山水花鳥香炉　錦光山作　明治時代　H11cm　W9.5cm

正保2年(1645)に開窯の京都粟田口の陶家の作品。宝暦5年以後、徳川幕府の御用茶碗師となり、元禄年間には粟田青蓮院の宮から錦光山の名を賜った。七代錦光山宗兵衛(1868～1928)は、薩摩焼風の絵付けの京薩摩を考案した。海外へ多数輸出され、粟田焼で培われた絵付けの技法と薩摩焼風の金襴手が海外で評判となった。本作品は、画面が四季の四面に分かれ、春は桜、秋は紅葉の山水画、夏と冬は花鳥画が優美に描かれて気品に富み、香炉にしては珍しい四足となっている。

対象期間
2011年4月～2012年3月(一部最新のデータを含む)

対象組織
高砂香料工業株式会社およびグループ会社

実績データ集計範囲
2011年4月～2012年3月

参考にしたガイドライン
GRIガイドライン

次回発行時期
2013年10月を予定

CONTENTS

高砂香料グループ　会社概要 …… 4

トップメッセージ …… 6

香りで暮らしをより楽しく、より豊かに …… 8

特 集 …… 10

高砂香料グループは、
グローバルな事業活動や研究開発を通じて
持続可能な社会の実現に貢献していきます。

CSRマネジメント …… 14

高砂香料グループの
EHS100(中長期計画)の取り組み …… 18

社会性報告 …… 20

環境報告 …… 28

製造拠点・事業所での活動報告 …… 32

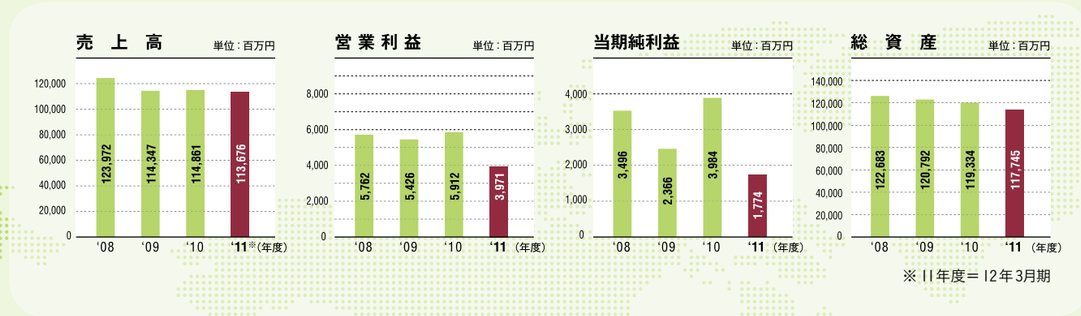
高砂香料グループ　会社概要

高砂香料グループは、高砂香料工業、子会社31社および関連会社2社を有し、
世界24の国と地域において、フレーバー、フレグランス、アロマケミカル、ファインケミカルの製造・販売を
主な事業内容とし、さらに各事業に関連する研究開発も進めております。 2012年3月現在

会社概要

会社名	高砂香料工業株式会社　TAKASAGO INTERNATIONAL CORPORATION
本社	〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号
設立	1920（大正9）年2月9日
資本金	92億円
従業員数	高砂香料グループ　3,041名／高砂香料　1,025名

業績ハイライト



※11年度＝12年3月期

Europe　Asia　Africa　Japan　North America　Pacific　South America

EMEA※

従業員数 …… 437名
売上高 …… 135億円
主要事業　フレーバー／フレグランス／アロマケミカルの製造・販売

※EMEA：ヨーロッパ、中東およびアフリカ
(Europe,the Middle East,and Africa)

アジア-パシフィック※

従業員数 …… 630名
売上高 …… 127億円
主要事業　フレーバー／フレグランスの製造・販売および アロマケミカルの販売

※アジア-パシフィック：アジア太平洋地域
(Asia Pacific)

日本

従業員数 …… 1,375名
売上高 …… 686億円
主要事業　フレーバー／フレグランス／アロマケミカル／ファインケミカルの製造・販売および不動産賃貸／ほかサービス業

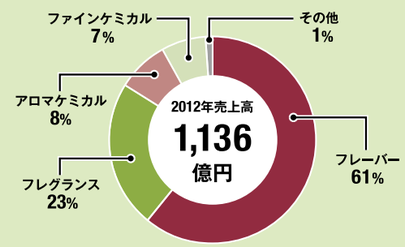
米州

従業員数 …… 599名
売上高 …… 189億円
主要事業　フレーバー／フレグランスの製造・販売およびアロマケミカル／ファインケミカルの販売

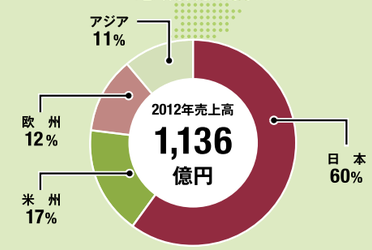
高砂香料の4つの事業

- フレーバー Flavors
- フレグランス Fragrances
- アロマケミカル Aroma Chemicals
- ファインケミカル Fine Chemicals

事業別売上高



地域別売上高



Top Message

グローバルな競争力を高めるとともに
社会におけるQOLの向上を追求し、香料業界の
リーディングカンパニーにふさわしい
CSR経営を実現していきます。

高砂香料工業株式会社
代表取締役社長　井垣理太郎

昨年は東日本大震災が発生し、未曾有の被害をもたらしました。被災された方々におかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。

高砂香料グループも、鹿島工場、平塚の配送センターにおいて被害を受けましたが、生産をストップさせることなく早期復旧を果たしました。また、震災発生後ただちに1,000万円の義援金を申し出るとともに、震災を忘れることなく継続的に復興支援に取り組んでおります。

グローバル全生産拠点における ISO14001統合認証とFSSC22000認証で トップクラスの香料会社を目指します

高砂香料グループは1920年の創業以来、「技術立脚の精神に則り社会に貢献する」を企業理念に掲げ、環境保護や地域社会への貢献、そして安全で信頼される製品の供給を第一に、香料業界のリーディングカンパニーとしてグローバルに事業を展開しております。また、信頼される企業としてコンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化などに努めるとともに、人々の健康と安全を守り、地球環境の保全に貢献するための「EHS宣言」を2008年に発表いたしました。

現在、高砂では2020年の創立100周年に向け、グループ一丸となって中長期計画「EHS100」に取り組んでいます。フェーズⅠの最終年度である2011年度は、グローバル生産拠点におけるISO14001統合認証取得を完了しました。さらに、日米欧亜4極の「EHS管理統括責任者」を中心に、「EHS100」に沿って環境・衛生・安全面の活動強化に注力してきました。

フェーズⅡを迎えた2012年度からは、グローバル・グループの食品工場におけるFSSC22000の認証取得が進行中です。同時に、CO_2排出量10%削減（2000年比）の目標を実現するため、国内・海外拠点の各種環境データを集約・管理するシステムを導入し、環境経営情報の「見える化」を推進してまいります。

顧客の信頼獲得と利益体質の追求で 確固たる“高砂ブランド”を築き グローバルな競争力を高めます

原材料の高騰をはじめ、ギリシャの財政危機に端を発する世界的な金融不安、タイやオーストラリアでの洪水による災害など、事業リスクが高まり、企業を取り巻く環境は厳しさを増しています。グローバル市場で事業を拡大させ、安定的に成長していくために、高砂香料グループでは4月より3カ年経営計画「GP-2（New Takasago Global Plan）」をスタートさせました。

これまでの経営計画で見えてきた課題を踏まえて、「GP-2」では「顧客の信頼をもとにしたサステナブル経営」と「利益体質の改善」を最重要テーマとし、“高砂ブランド”の確立、そして長期的な成長を図ってまいります。そのために「コーポレート・アクション・プラン」を新たに設け、

1. グローバルでの全体最適の追求
2. 差別化によるブランド確立
3. 技術革新による優位性の確立
4. サステナブル経営の追求

の4項目に重点的に取り組んでまいります。さらに、委員会組織であるTGSC（Takasago Global Steering Committee）でグローバルでの課題を定期的に議論し、確実に実行・改善していく体制を整えてまいります。

社会全体のQOLの向上と、 真面目で働きやすい社風を伸ばし 健全なCSR経営を推進していきます

このたび、従来の「環境報告書」を改め、「社会・環境報告書」として発行する運びとなりました。グローバルに事業を展開する高砂香料グループですが、その根本を流れる企業姿勢は「真面目さ」にあると私は思っています。高砂の製品は、食はもちろん、皮膚に関連する商品、医薬品など幅広い分野で使われます。培ってきた高い技術力を核に、各事業領域におけるご要望に応えさまざまな規制、法令にしっかりと対応してきた「真面目さ」こそ高砂のDNAであり、グローバルな市場で信頼を獲得するための原動力になっていると感じています。

そして、サステナビリティとは何かを追求するにあたり、環境保護と経済的効率、社会的責任の実現だけでなく、ステークホルダーとの調和も大切にしなければなりません。多様な価値観や嗜好を理解し、広く社会全体のQOLの向上につながるような製品を、高砂の経験と技術を駆使して研究・開発し続けることが求められているのだと実感しています。また、ダイバーシティを重視した働きやすい職場を実現することで、従業員一人ひとりの人生の充実（＝QOL）も図っていきたいと考えています。

今後も高砂は、グローバル企業として持続的な成長と発展に努め、皆様のご要望やご関心に的確にお応えできる透明性の高い健全な経営を目指してまいります。

皆様には、よりいっそうのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

香りで暮らしをより楽しく、より豊かに

クリーンでナチュラルな香りを創造

近年、香りが長く続く柔軟剤が注目され、香りは商品を選ぶ際のひとつの視点になっています。クリーンでナチュラルな香りこそ高砂技術の特長であり、ハウスホールド製品やトイレタリー製品などに幅広く使われています。

衣料用洗剤
柔軟剤

12

化粧水
乳液
コロン
ハンド
クリーム
口紅

肌に触れるからこそ、安全な香りを

香水や化粧品などの香りは特に人の好みが分かれやすいため、新たな香りを創造すべく、調香師は日々挑戦しています。肌に直接触れるものだからこそ、アレルゲン成分は欧州基準にも適応できるように厳しく管理し、オーガニックコスメなどにも対応しています。

ヨーグルト
菓子パン
ドレッシング
カップラーメン

フレーバーでおいしさを最大限に

香り（フレーバー）は目には見えませんが、食欲を刺激し、満足感を高める大切な役目を持っています。流行やニーズを把握し、消費者に好まれるフレーバーの開発で、それぞれの食品の「おいしさ」を最大限に引き出しています。

6

さっぱり感やクールな使い心地を

スッとした爽快感から、歯磨き粉などによく使われるメントール。ペパーミントなどの植物に多く含有されますが、高砂香料工業は1983年に世界初の不斉合成技術での「ℓ-メントール」の工業化に成功しました。ほかにも冷・温感剤の開発など、日用品の使い心地の向上に役立っています。

洗顔石鹸
歯磨き粉
マウスウォッシュ

最先端
技術を
生かして

薬

合成技術で医薬品をつくる

合成技術を応用し、医薬中間体やエレクトロニクスなどの分野で活躍しています。特に“触媒”による高砂の不斉合成技術は、医薬品業界においてグローバルに高く評価されています。

15

シトラスの香りで、飲み心地さわやかに

グレープフルーツやレモン、カシス、ライチなど、主にスポーツドリンクに使われる飲料用フレーバーは、口にしたときに鼻から抜ける爽快感や、すっきりとした後味に一役買っています。フロリダに「シトラスセンター」を有するなど、高砂の主力製品のひとつです。

スポーツドリンク

アイスクリーム
ポテトチップス
チョコレート
缶コーヒー

至福を生み出す香りのパワー

バニラやコーヒー、チョコレートなど、鼻孔をくすぐる嗜好品の香り。香りは、至福のひとときをつくりだす演出家の役割を担っているのです。

たれ
つゆ

19

芳醇な香りを高品質でお届け

出汁が生み出す芳醇な香りは、調味料のよさを左右するといっても過言ではありません。それぞれの素材の特徴を生かしながら、高い技術力で製品の品質を守っています。

シャンプー

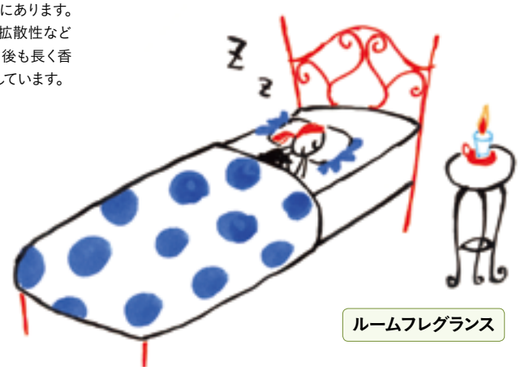
汚れは洗い流し、持続する香りを楽しむ

シャンプーは、汚れをしっかり洗い流すとともに、香りが持続するものが好まれる傾向にあります。「よい香り」だけでなく、残香性や拡散性など香りの機能面も追求し、シャンプー後も長く香りを楽しんでいただけるお手伝いをしています。

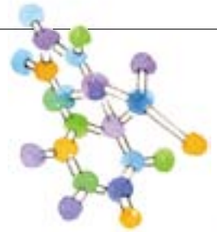
23

香りで、心にゆとりを

ローズやラベンダーなど、リラックスを誘うルームフレグランスの香り。高砂香料グループは持続可能な事業を目指し、アロマオイルなどに使われる植物「パチョリ」の生育を保護しています。また、心理学から香りにアプローチする「アロマコロジー」などの研究にも取り組んでいます。



ルームフレグランス



Fine Chemicals

ファインケミカル

環境に配慮した最先端の触媒技術で
高効率で安定した製品を実現する

Flavors

フレーバー

健康志向に対応した香料開発で
安全で豊かな食生活をサポートする

高砂香料グループは、グローバルな事業活動や研究開発を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

革新的な技術力とパイオニア精神で、香料業界をリードし続ける高砂香料グループ。
競争が進むグローバルな経済の中で、高品質で安全な製品を安定的に供給するため、
高砂香料グループはサステナブルな事業活動および研究開発に力を入れてまいります。

Aroma Chemicals

アロマケミカル

革新的な技術で天然資源の保全に寄与し
多様なライフスタイルの創出を支える

Fragrances

フレグランス

香りが持つ可能性を追究し
暮らしに潤いや癒しを与える

Everyday

Safety&Healthy

安全・安心そして健康のための取り組み

高砂香料グループでは、1960年代より酵素や菌体を利用した研究が行われ、
香りに関する膨大な量のデータが開発に生かされています。
近年では、食品における減塩や減脂などの流れに対し、香りで食品の風味を補い、
おいしさ・食の満足感を満たすことで健康志向に応えています。
また、苦味が出やすい特定保健用食品の成分をマスキングして食べやすくする
素材の開発なども行っています。分析データに加え、
「匂い嗅ぎガスクロマトグラフィー」などの人感を融合させた独自の研究力で、
これからも安全・安心で健康的なライフスタイルの拡大に貢献していきます。

グローバルな開発を支える研究開発本部

1920年の創業以来、「技術立脚の精神に則り社会に貢献する」を理念に、香料業界のリーディングカンパニーとして成長してきた高砂香料。 神奈川県の研究エリアには研究開発本部に所属して、触媒反応を用いた医薬中間体などを扱う「ファインケミカル研究所」、不斉合成技術などで多彩な香りを生み出す「アロマケミカル研究所」のほか「新事業開発研究所」、「分析技術研究所」があります。また事業本部に属して清涼飲料や菓子などの香料を開発する「フレーバー研究所」、化粧品やトイレタリーなどに向けた「フレグランス研究所」は、グローバルに展開する研究開発の発信地となっています。

持続可能な環境経営を目指して

2012年度より中期経営計画「GP-2」に入り、高砂香料グループとして経営資源のグローバルな最適化、 持続可能な環境経営の推進、差別化によるブランド力の向上などを目指しています。その一環として、研究開発本部では天然素材の探索や分析、新たなアロマケミカルの開発強化とともに、高砂香料の独自性や優位性を高める技術の確立に力を入れています。「不斉合成によるℓ-メントールの初の工業化など、 高砂香料が持つ革新的技術力で、 社会にさらに貢献していきたいです」(菅沼)。

開発推進部
部長
菅沼 利一

健康志向やQOLの向上に貢献

「匂い嗅ぎガスクロマトグラフィー」などの研究設備を活用し、より質の良い物を探し分析することで、今まで注目されなかった香り(成分)を使っての製品の差別化も可能になります。また、香りを構成する貢献度の高い成分を特定することで、必要な物を必要なだけ効果的に活用することができ、できるだけ天然資源を保持しながらも満足度の高い香りを合成・再現していくこともできます。こうした研究活動を通して、高砂香料グループは、例えばノンアルコールビールに賦与するビールフレーバーや、加齢臭対策、冷感剤を使用したパーソナルケア商品などの開発にも寄与しており、消費者のQOL向上に貢献しています。「身近な香りを分析し、多様なスタイルや価値観に応えていきます」(川上)。

研究員が実際に匂いを嗅いで研究する
「匂い嗅ぎガスクロマトグラフィー」

分析技術研究所
所長
川上 幸宏

Green sustainable Chemistry

環境にやさしく、持続可能な香料開発の取り組み

触媒的不斉水素化反応

1980年のBINAP触媒の誕生以来、不斉合成によるℓ-メントールの初工業化など、
高砂香料グループは安全かつ環境負荷を低減する触媒の開発を進め、
“触媒技術のパイオニア”として成長してきました。
近年、欧米を中心とする天然香料の需要の高まりに応えるべく、
バイオ技術などを発展させ、より天然物に近い香料の開発で
生物多様性や希少生物の保全に寄与していきます。

天然香料ムスク(左)と
乳香(右)

高効率で環境負荷の低い触媒の開発

高砂香料グループでは、製造過程において高収率かつ廃材の少ない触媒反応で、省エネルギーで省廃棄物となる製品を実現しています。また、触媒により反応温度を下げることができるなど、プロセス安全性にも有効です。

不斉合成技術は、右手左手の関係を持つ化学物質のうち、必要な構造部だけをつくり分けるため、「キラロマ®ブランド」としてハウスホールド製品などに使われているほか、医薬中間体の分野で欧米の製薬メーカーから高い信頼を勝ち得ています。「今後はCO_2を用いた反応を開発し、CO_2排出量の削減にさらに貢献していきたいです」(藤原)。

ファインケミカル研究所
所長
藤原 光彦

希少天然資源の保全

香料成分は、太古より天然の花や樹液、動物の分泌物から採取されてきました。現在でも需要の高いサンダルウッドやムスクの原料は、希少な動植物の白檀やジャコウジカなどで、ワシントン条約など国際法の規制対象にもなっています。

高砂香料グループでは、培ってきた技術力で天然香料を人工的に合成することで、天然資源の枯渇を防ぎ、生物多様性の保全を推進しています。さらに、少量でも望む香りを発揮する香料の開発など、原材料の使用量や廃棄物の削減を目指しています。「微生物による発酵法などナチュラルケミカルの開発も進め、社会の要請に応えていきます」(松田)。

アロマケミカル研究所
所長
松田 洋幸

TOPICS 新事業開発研究所

地球と人間活動の共存を目指して

「新事業開発研究所は、中長期的視野から事業活動継続に必要な技術基盤を構築し、市場への革新的な商品提供に貢献する部署です。全事業に共通するQOL向上を目指して、香りが人間に及ぼす影響を心理学的に解き明かすアロマコロジーや生理計測などの評価技術を確立するとともに、サステナビリティの観点から、リニューアブル資源の活用拡大や廃棄物削減につながる製造技術に取り組み、新たな価値のある素材を生み出しています」(桝村)。

CNV(随伴性陰性変動)の活用

新事業開発研究所
所長
執行役員 **桝村 聡**

Global

グローバルな課題を解決するための取り組み

1960年にニューヨークとパリに駐在所を開設して以来、
現在ではメキシコ、ブラジル、ドイツ、スペイン、中国、シンガポールなど
グローバルな香料会社として世界24の国と地域に拠点を設けています。
各国での研究やデータ、素材などをグループ内で有効に活用するとともに、
生態系の保全や、産学協同などによる研究開発にグローバルに取り組み、
高砂香料グループの総合力と技術力で世界的な課題の解決に貢献していきます。

グローバル力で世界の需要に応える

ケミカルに関する膨大な分析データや素材などを共有し、グローバル力を生かした事業を展開しています。海外拠点が集まる会合を定期的に開催し、コーヒーやアップルなど各国で特徴の異なる素材の情報、セーフティ情報などを共有し、地域ごとの嗜好の把握、品質や安全性の向上に役立てています。

また、米・Sensoral Centerでは冷温感剤の研究を進めているほか、食品や飲料の試作・評価などを行うフードデザインセンターを日本やドイツに設けています。「フロリダのシトラスセンターではグレープフルーツなど天然素材を加工し、安定的な供給を確保しています」(谷中)。

フレーバー研究所
所長
谷中 史弘

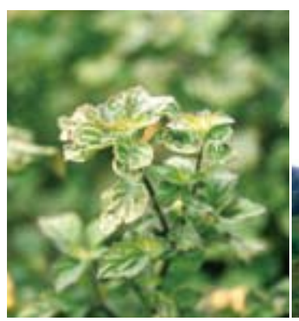
生態系保全にグローバルに取り組む

世界的な原料の高騰や規制の厳格化が進む中、高砂香料では持続可能な事業活動に向け、生態系の保全にグローバルに取り組んでいます。

高砂香料インドネシア(P.T.T.I.)では、エッセンシャルオイルに必要な植物パチョリの生育を支援し、資源循環型の生産システムによる種の保全のほか、安定的な調達、現地での雇用開発、フェアトレードに貢献しています。また、高砂香料フランス(TEPL)では、「NRSC(Natural Resources Stewardship Circle)のメンバーとして、2011年よりベチバーなどの植物保護に積極的に取り組んでいます」(海野)。

フレグランス研究所
所長
海野 政勝

フロリダのシトラスセンター



パチョリの生育を支援

CSR Management

CSRマネジメント

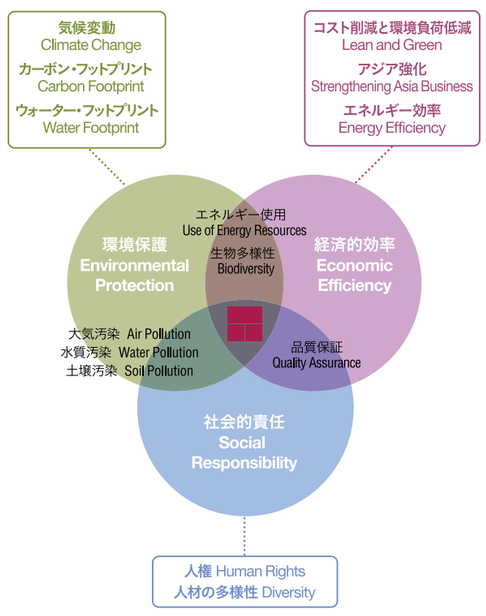
高砂香料グループは、「技術立脚の精神に則り社会に貢献する」を企業理念に、コーポレート・ガバナンスおよびコンプライアンス体制の強化などを通じて透明性の高い誠実なCSR経営を目指していきます。

CSRビジョン

高砂香料グループは、地球環境に配慮し、社会に信頼される企業を目指して、未来を見据えた事業活動の推進を通じてより良い社会づくりに貢献していきます。

また、社会の公器として、企業活動の経済面、環境面、社会面という三つの側面でバランスの取れた経営を推進していきます。具体的には、廃棄物の削減やエネルギー効率の見直しなどで環境負荷を低減し、生物由来の原材料の保全に努めるとともに、多様な人材を活用するダイバーシティ・マネジメントなどに積極的に取り組んでいます。

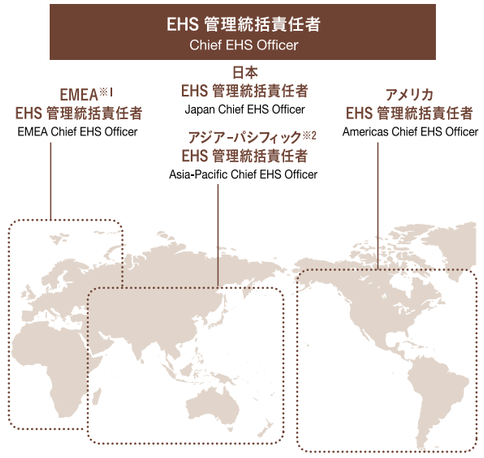
■ CSRビジョンの主な考え方



CSR推進のためのグループEHS委員会

高砂香料グループでは、CSRビジョンを実現するため、EHS担当役員と日米欧亜の4極のEHS管理統括責任者から構成される「グループEHS委員会」を2010年に設置しました。「グループEHS委員会」のもと、CSRに関わる方針や戦略、活動内容を議論・決定し、持続可能な社会の実現に向けたCSR活動をグローバルに展開していきます。

■ 世界4極EHS管理統括体制図



※1 EMEA：ヨーロッパ、中東およびアフリカ（Europe,the Middle East,and Africa）
※2 アジア-パシフィック：アジア太平洋地域（Asia Pacific）

グループEHS委員会　具体的責任

- EHS方針および戦略を設定し、レビューすること。
- EHS戦略および方針のグループ内への伝達および実行を確実にすること。
- EHS目的を設定し、監視すること。
- グループの監査スケジュールに同意すること。
- 監査報告書をレビューすること。
- 内部および外部報告活動を決定すること。

VOICE　EHS管理統括責任者として、持続可能な社会の実現のため、CSR活動に取り組んでいます。

米州EHS管理統括責任者

The world has experienced an explosion in the awareness of, and interest in, sustainability. Companies began to trumpet their accomplishments and customers began to ask about the sustainability of the products and services they purchase. Takasago started to receive more questions about the sustainability of our fragrances, flavors and chemicals. We have responded by emphasizing that sustainability has always been a fundamental foundation of Takasago since its founding more than 90 years ago. As we move forward, I am confident that Takasago will continue to provide our customers with safe, reliable products that are both environmentally and socially responsible.

サステナビリティという考え方に対する認識と関心が、世界規模で劇的な高まりを見せています。多くの企業が持続性を意識した事業活動を展開し、その実績を高らかにアピールする一方で、消費者もまた、購入する製品やサービスのサステナビリティについて強く意識するようになりました。高砂香料グループが取り扱うフレグランス、フレーバー、アロマケミカルの各製品に関するお問い合わせも急増しています。こうしたお問い合わせを受けるたびに私たちは、創業以来90年以上にわたり、サステナビリティこそが当社の礎となる企業理念であることをお伝えしてきました。お客様に安全で信頼のおける製品をお届けすることで、環境保護と社会的責任の実現を果たしていく。この揺るぎない理念を、高砂香料グループのさらなる発展とともに、よりいっそう徹底させ、推進していきたいと考えています。

Kevin J. Renskers, Ph.D.
Vice President
Takasago International Corp.(U.S.A.)

アジア-パシフィックEHS管理統括責任者

John S C Ho
Senior Supply Chain Manager
Takasago International (Singapore) Pte., Ltd.

It is with great honor that I accept the role & responsibility of being the EHS Chief Officer for Asia, Takasago. As a member of the EHS Global team, I shall promote greater awareness and need amongst our Asian affiliates to better manage our resources. We shall do this by constantly monitoring the usage of water, electricity, fuel and other resources while evaluating and implementing more efficient alternatives to utilizing them. By setting these objectives, we strive to reduce carbon emission and minimize waste generation, thereby promoting a cleaner and greener environment in the Asian countries that Takasago is operating in.

高砂香料アジア地区を統括するチーフEHSオフィサーという重要な役割を与えていただいたことを非常に光栄に思います。EHSグローバルチームの一員として、グループが蓄積してきた貴重なリソースをより効果的に活用するために、アジア各地の生産拠点におけるEHS活動に対する意識を高め、その責務を果たすことを徹底させていきます。具体的には、製造過程で使用する水、電力、燃料、その他資源の消費状況を常時モニターするとともに、EHS実現に寄与する代替資源の評価、導入を積極的に行っていくことが目標です。そしてこの目標の実現を通して、CO_2排出量の削減、廃棄物の最少化に取り組み、アジア地区の生産拠点全体で環境に配慮した事業活動をさらに推進していきます。

EMEA EHS管理統括責任者

I have immediately accepted the honor, granted by the Head-quarters, of being EHS Chief Officer for the Takasago EMEA area. To fulfill this mission, I rely on the EHS teams of our European production sites located in Germany, Spain and France. They excel in different product categories and they all work at achieving the Group objectives. Thus, sharing experiences initiates new improvements and determines our main line. Despite a complex economic context in Europe, we take all possible steps to reduce our consumption. Improving our carbon balance being a number-one objective, I personally consider our EHS program as high priority.

ヨーロッパ・中東・アフリカ地区を統括するチーフEHSオフィサーへの就任というお話を東京本社から受け、迷わず引き受けることにしました。この重要な役割を果たすにあたり、ドイツ、スペイン、フランスの各国で展開するヨーロッパEHSチームの働きに大いに期待しています。このチームは、多種多様な製品分野に関する優れた専門知識をもとに各地区の生産拠点で蓄積した経験を共有し、新たな改善策の発見や活動方針の策定に生かしてきました。現在も、ヨーロッパ特有の複雑な経済環境に屈することなく、資源とエネルギー消費の削減に向けて可能な限りの対策を実行し、高砂香料グループのサステナビリティ目標の達成に取り組んでいます。私自身も、CO_2排出バランスの改善を第一の目標とする各種EHSプログラムの実行を最優先課題と考え、チーフEHSオフィサーとしての重責を果たしていきたいと思います。

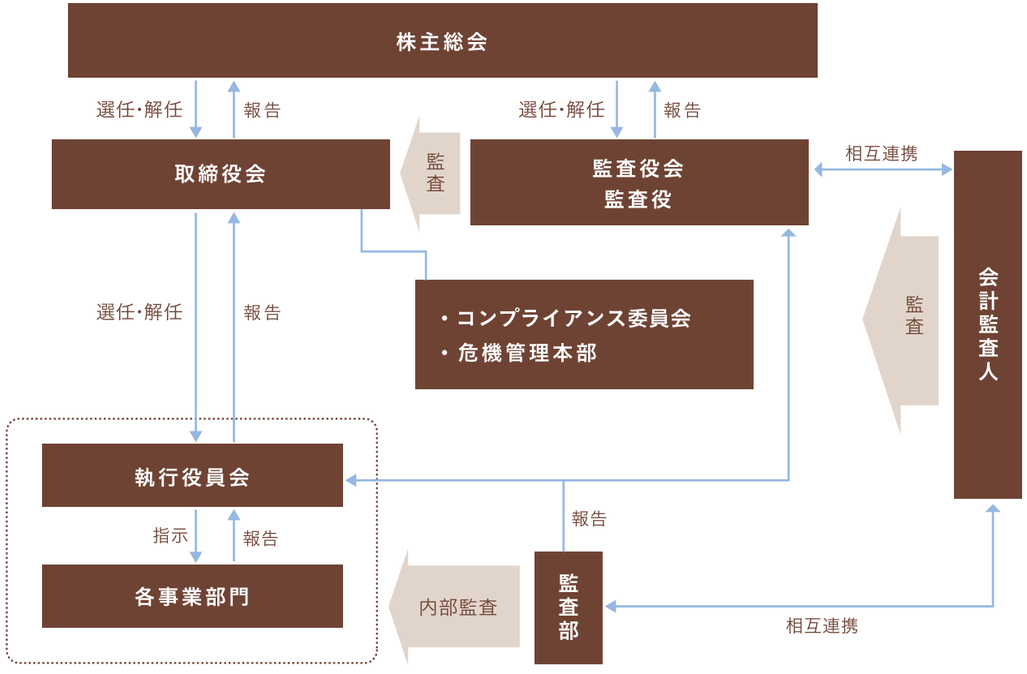
Philippe BEAUVAIS
Senior Vice President
Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.

コーポレート・ガバナンス

ステークホルダーの皆様から信頼され、評価される経営を目指す高砂香料グループは、経営判断の適正性、経営のチェック機能および情報開示による経営の透明性を高めることに努め、コーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

取締役会では「内部統制に関する基本方針」を定め、取締役による経営判断の効率化と業務執行の迅速性を確保するため、執行役員制を導入し、取締役会の企業統治機能と執行役員による業務執行の分化を図っています。

■コーポレート・ガバナンス体制図



内部統制委員会

業務監査を行う監査部を事務局とする「内部統制委員会」を設置し、内部統制の推進・実施および評価報告制度への対応などに取り組んでいます。

コンプライアンス体制

高砂香料グループでは、コンプライアンスを経営上の重要な課題と認識し、公正・適切な企業活動の展開やコーポレート・ガバナンスを充実させていく中で、体制の継続的な改善を図っています。企業憲章および行動規範で法令や社会規範の遵守を挙げるとともに、内部通報制度「明日への窓」を開設し、コンプライアンスに関連する制度や諸規程を整備しています。

また、監査部のほかに「環境安全監査室」を設け、環境保全や労働安全衛生、保安防災にも取り組んでいます。定期的にグループ内でのEHS監査、グローバル統合認証ISO14001の内部監査を実施し、2011年度は国内拠点7カ所および海外拠点5カ所で監査法人SGSによるサンプリング審査を行い、重大な法規則の違反などはありませんでした。

コンプライアンス委員会

取締役社長を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設け、重要事項を審議・立案・推進し、コンプライアンス体制の確立・遵法精神の徹底を図っています。

内部通報制度

高砂香料グループでは、従業員(出向者を含む)、パート従業員、関連会社の従業者など、当社の業務に従事するすべての者が利用できる相談窓口「明日への窓」を開設しています。職制や個人での解決が困難なコンプライアンスに関するさまざまな問題について、内部通報制度を通して倫理や法令の遵守を推進するよう努めています。

事例をもとにコンプライアンスを説明した社内報

BCP(事業継続計画)の強化

大規模災害や緊急事態などの発生リスクに備え、高砂香料ではBCP(事業継続計画)の策定および対策に取り組んでいます。

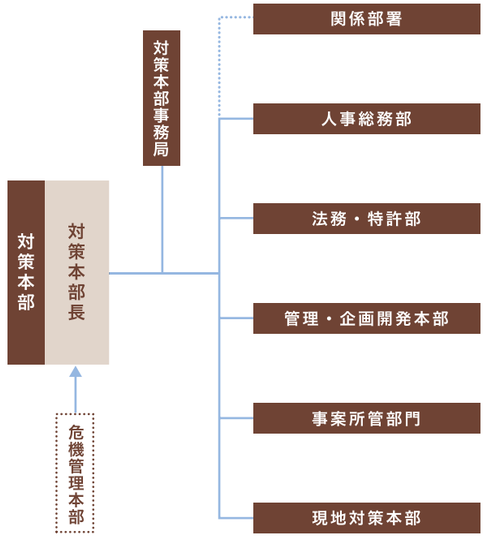
コンティンジェンシープランの検討

自然災害時における安定的な供給確保のため、中長期的観点からコンティンジェンシープランの整備にも取り組んでいます。国内外の製造体制を最適化し、信頼される商品の継続的な供給に努め、社会的責任を果たします。

危機管理本部

平時より本社に「危機管理本部」を設置し、事業継続を妨げるあらゆる潜在リスクの発生に備えた危機管理計画書を策定しています。緊急時の影響を最小限に留め、早期に危機管理の目的を達成できる体制構築を推進しています。

■危機管理体制図



高砂香料グループのEHS100（中長期計画）の取り組み

「EHS100（中長期計画）」はEHS宣言を達成していくための中長期計画で、創立100周年にあたる2020年度までを3ヵ年ごと4期に区分して、取り組んでいます。未達の活動内容は、次期フェーズの取り組みといたします。

大項目	小項目	活動内容	フェーズⅠ 2009年度～2011年度	評価	フェーズⅡ 2012年度～2014年度	フェーズⅢ 2015年度～2017年度	フェーズⅣ 2018年度～2020年度
EHS 管理	EHS マネジャー	EHS管理の主責任者 （総務部長または相当する職能）	国内外生産拠点にEHSマネジャーを設置	○	国内外非生産拠点にEHSマネジャーを設置	EHSマネジャー会議（毎年）	
	内部監査	監査専任者の選定	国内監査専任者の選定とレベルアップ	○	三極（アジア、欧州、米州）各々に監査組織を設置	グローバル監査会議（毎年）	
	マネジメントシステム（MS）	MSの第三者認証登録	国内外生産拠点でISO14001認証を取得	○	グローバル統合EMS（環境マネジメントシステム）認証を取得	国内外生産拠点でOHSAS認証を取得	グローバル統合OHSAS認証を取得
遵法・ 自主管理活動	法定管理者	責任と権限の徹底	「資格制度」の構築	△			
		法定管理者の一元管理	国内グループ会社の法定管理者に関する情報収集	○	グローバルグループ会社の法定管理者に関する情報収集	データベース化	
	法的届出の適切な実施	法的届出のための管理手順	国内グループ会社の法的届出の情報収集	○	グローバルグループ会社の法的届出の情報収集	管理手順の作成	
環境課題対応	情報開示の改善	グローバル対応報告	グローバル環境報告	○	グローバルサステナビリティ報告		
地球温暖化対策・ 省資源活動	京都議定書への対応	地球温暖化対策法の遵守	前年比エネルギー効率2%削減活動の継続	△	国内グループ会社：業界基準に従う	炭酸ガス排出量を有効利用	
			省エネルギーに配慮した設備の導入	○		コジェネレーション発電設備の導入	太陽光発電の導入
	水の使用量の削減	地下水汲み上げ量の削減	方法検討	△	雨水活用	河川放流排水の再利用（排水リサイクル設備の新設）	
	容器・包装材料の3R	容器・包装材料の3Rのための活動	容器・包装材料のリサイクル化へのデータ収集・顧客アンケート	△	容器・包装材料のリサイクル化のための顧客へのお願い	容器・包装材料リサイクル化の実施	
化学物質管理	大気汚染物質	VOCの自主規制	VOC自主基準の決定とそれに基づく活動	△			
	第Ⅰ種監視化学物質	自主規制「化学物質」の取扱い確立	社内「取扱い手順」の厳密化と運用	×			
大気・水質・ 土壌汚染対策	水質・土壌汚染防止	近隣地域との共生	自主的調査の実施	○	境界外流出「0」を保証する活動	対策検討	
	炭酸ガス排出量	改正省エネルギー法による温暖化阻止への貢献	コジェネレーションシステムの導入検討（土地の問題）	×	2000年比削減目標：CO_2排出量10%	海外グループ工場へのコジェネレーションシステムの導入	第2次京都議定書対応
	非生産拠点の炭酸ガス排出量削減	販売部門での省エネルギー活動の実施	国内非生産拠点のCO_2排出量集計システムの構築	○	海外非生産拠点のCO_2排出量集計システムの構築	エネルギー効率前年比2%削減（国内グループ）	海外非生産拠点のエネルギー効率前年比2%削減
	地下埋設設備	地下埋設タンクおよび配管の地上化	地下埋設設備に関する情報収集・分析	×	平塚、磐田、鹿島工場における地下埋設設備の地上化	国内グループ生産拠点の地下埋設設備の地上化実施	グローバル製造拠点における地下埋設設備の完全地上化
	水資源の有効利用	水使用量削減	前年比水使用量削減率：2%	×	前年比水使用量削減率：2%	使用量10%削減（対2000年比）	雨水利用の検討
感覚公害･苦情処理	騒音・臭気の予防	自主基準	自主基準の作成	×	海外適応		
廃棄物管理	排出量削減プログラム	産業廃棄物再資源化100%の達成	排出量削減の基準づくり	○	国内生産拠点でゼロエミッション達成	海外生産拠点でゼロエミッション達成	全生産拠点にて、再資源化100%
	産業廃棄物の不法投棄予防対策	マニフェスト管理	委託業者管理要領の策定・運用（日本）	△	海外委託業者管理要領の策定・運用		
	産廃業者とのコミュニケーション	各工場全委託業者の把握	リサイクル・再資源化の確認・監視	○	委託業者の監査・管理体制の確立（定期監査100%実施）	リサイクル原料としての納入先の監査（海外含む）	業者の遵法性の監査・監督の実施
	有機溶剤排出量削減	改正VOC法（基準年：2000年）	トルエン排出量削減（2000年比30%削減）	×	トルエン排出量削減（2000年比40%削減）	トルエン排出量削減（2000年比50%削減）	その他PRTR対象物質の排出量・移動量削減計画
		ハロゲン系有機溶剤（基準年：2000年）	塩化メチレン排出量削減（2000年比30%削減）	×	塩化メチレン排出量削減（2000年比40%削減）	塩化メチレン排出量削減（2000年比50%削減）	
リスク管理および 事故・緊急時対応	EHSリスク	リスクアセスメント	国内生産拠点の実施	○	海外生産拠点の実施		
		洗い出し手順作成	優先順位とリスク低減措置検討	○	優先順位とリスク低減措置実施		
		危険有害作業および非定常作業の運用手順	危険有害作業の運用手順作成	△	非定常作業の運用手順作成		
	リスク分散	リスク管理対策のレベルアップ	リスクを考慮したCSR調達方針の作成（購買部）	×	取引先への改善要求等の対応策		
製品・技術の開発	環境、安全衛生アセスメント	アセスメント規程作成	必要に応じ、コンサルタント導入	×			
		アセスメントの実施・結果の反映			日本実施	海外への展開	
	ライフサイクルアセスメント（LCA）	LCAの導入･実施（特定の品目）	LCAの導入検討（研究主導）	△	LCAの導入	LCAの実施	
施設ならびに 車両管理	施設の操作、維持管理	マニュアル整備	単体三工場	○	国内生産拠点	海外展開	
	施設の安全点検			○			
	人身事故	設備の安全・管理と教育・訓練	教育・訓練計画書	○			
	フォークリフト	教育・訓練		○			
地域社会との共生	地域社会とのコミュニケーション	責任者の設置	国内外に適応	×			
		地域社会とのふれあい	工場見学、社会見学などの企画・推進	○	地域貢献活動の導入検討		
	ボランティア活動	ボランティア休暇制度の積極活用	会社の側面支援	△	ソーシャルサービス制度の導入検討		
基本的人権の尊重	児童労働	労働を禁止する最低年齢：15歳未満	グローバルグループ企業への徹底周知	○	委託先の調査および適切な措置	原料購入先の調査および適切な措置	グローバルグループ企業への徹底周知
	個人の尊重	差別の撤廃	人権教育の実施（人事部）	○	グローバルグループ企業への徹底周知		
	障がい者雇用	職場環境整備	障がい者雇用機会創出	○	バリアフリー化、聴覚障がい者用の警報装置		
	取引先の判断	高砂香料サプライヤー行動規範	行動規範の和文・英文の作成（購買部）、取引先への配布	×			
教育・訓練活動	EHS教育の再構築	EHSに関わる技能・知識水準の向上	人事部・高砂カレッジの活用	○	階層別e-ラーニングを管理職全員に実施	e-ラーニングによる国内グループ全社員教育	e-ラーニングによるグローバルグループ全社員教育
	責任者・有資格者	計画的に育成	情報収集・解析（国内）	○	教育計画の作成と実施（担当部署）	海外展開	
	新人への教育	修了証の発行	タイムリーに実施（新入社員研修等）	×			

［評価基準］ ○・・・達成　△・・・一部達成　×・・・進捗なし

Social Report

社会性報告

高砂香料グループは、「社会の一員としてより良い社会を目指して、積極的に社会貢献活動に参加する」ことを企業憲章に掲げ、地域と共生しながら社会に貢献する取り組みを推進しています。

地域とのかかわり

地域コミュニケーションと社会貢献活動

高砂香料グループは、地域の方々と良好なコミュニケーションを図りながら、ボランティア活動や地域交流などに積極的に参加し、豊かな地域社会の構築に寄与していきます。

● 海外での取り組み

インドネシアの小・中学校にパソコンを寄贈

高砂香料グループのP.T. Takasago Indonesia(P.T.T.I.)は、2011年9月に工場近隣の小学校に10台、中学校に10台の計20台のパソコンを寄贈しました。地域へのヒアリング活動を通じて、資金面でまだ導入できていない小・中学校の現状を知り、今回の寄付へとつながりました。調合香料の原料となる精油を製造・供給しているP.T.T.I.では、地域社会とさらに良好な関係を築けるよう努めていきます。

インドネシアでの寄贈セレモニーの様子

中国・広州の小学校へ文房具を寄贈

高砂香料(広州)有限公司(TIG)では、教育支援の一環として、2011年8月に近隣企業と連携して地域の小学校に文房具を寄贈し、小学校のある町内委員会より感謝の旗をいただきました。また、障がい者雇用を積極的に進め、送迎などのサポートを行うなど、地域社会に貢献できる企業活動を推進しています。

現地小学校での寄贈セレモニーの様子

アロマキャンドルの共同制作で売り上げを義援金に

高砂フランスでは、東日本大震災の復興支援として、フランスのテーブルウェアメーカーであるASTIER de VILLATTE社と共同で限定1,000個のアロマキャンドル「Bougie Yu-Aï(友愛)」を制作しました。キャンドルはパリで販売され、売上金の一部を義援金として日本赤十字社に寄付しました。

パリで販売された「Bougie Yu-Aï」

● 国内での取り組み

地域のお祭りに積極的に参加

平塚工場および研究開発本部がある神奈川県平塚市で毎年行われる「湘南ひらつか七夕まつり」は、日本有数の規模を誇る七夕祭りです。中心街に掲出される七夕飾りの数は約500本ともいわれ、高砂香料工業も毎年七夕飾りを掲出しています。また、平塚工場および研究開発本部の近隣の神社で毎年7月に行われる夏祭りでは、飲み物の差し入れなど、これからも地域のイベントに積極的に参加し、地域との交流を図っていきます。

地域住民のみなさんとの交流を深める地元の夏祭り

磐田市まち美化パートナー制度への参加

磐田工場は、静岡県磐田市が推進する「磐田市まち美化パートナー制度」に2008年より加入し、道路清掃や樹木等の整備など地域の美化に努めています。また、同じく磐田市に位置する高砂珈琲でも、2011年10月に実施された「まち美化パートナー大池クリーン作戦」に従業員が参加し、多くの野鳥が生息する大池のゴミ拾いや草刈りなどを行いました。今後も磐田市と協力し、良き企業市民として地域に貢献していきます。

磐田工場に隣接する祝川沿いに立てられた「磐田市まち美化パートナー制度」の看板

地域の清掃活動を推進

地域と共生し、地域に貢献できる企業となるべく、高砂香料の各工場では積極的に地域の清掃活動に参加・協力しています。高砂スパイスでは、2012年2月に行われた神奈川県秦野地区の不法投棄防止キャンペーンに従業員が参加し、不法投棄物の回収に努めました。また、磐田工場では、工場内で適切に処理した排水が隣接する祝川へ流入するため、祝川の清掃、不法投棄物や空き缶の回収などを定期的に実施しています。鹿島工場では5月と10月に工業団地内の一斉清掃に参加しているほか、毎月1回、工場の外周や通勤路の清掃で街の美化に努めています。

従業員総出で工場周辺を清掃

column

高砂香料コレクション

香りの歴史や文化を広く伝えることは、香りを扱う香料メーカーとしての責任であると考え、高砂香料グループでは、長年にわたり貴重な文化遺産である香りに関する資料や美術品の収集に努めてきました。世界の各地域および幅広い年代の香道具や香炉、香合、香油瓶、香水瓶など、現在「高砂香料コレクション」の数は約1,000点に及びます。その一部を高砂香料工業本社で展示しているほか、Webサイト「香りのミュージアム」でも紹介しています。

高砂香料工業本社「高砂香料コレクション」展示室

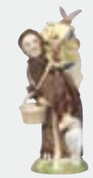
東洋ゾーン

葵紋蒔絵香割道具
(江戸時代 箱 W29.3cm)

色絵象香炉　古清水焼 伝仁清作
(江戸時代 H19cm)

西洋ゾーン

アネモネ文アトマイザー
(ガレ工房作 フランス
1904年頃 H23.2cm)



若い娘を背負う修道士の香水瓶
(マイセン ドイツ
1750年頃 H9cm)

香料素材

没薬(ミルラ)

甘松香(スパイクナード)

従業員とのかかわり

[従業員]

「従業員のゆとりと豊かさを実現するために、一人ひとりの従業員を大切にし、安全で働きやすい職場環境をつくる」ことを企業憲章に掲げ、働きやすい職場づくりや、従業員の安全と健康増進に努めています。

安定的な雇用を推進

高砂香料グループでは、雇用の機会均等などダイバーシティを尊重するとともに、安定的な雇用の創出を目指しています。

雇用の状況

透明性と公平性を重視した人物本位の採用を行うとともに、現地主導のグローバルな採用活動にも積極的に取り組んでいます。また、経験や能力を発揮できる再雇用制度や、雇用の場の創出と定着を図る障がい者雇用制度を進めています。

働きやすい職場づくりを目指して

- ❶自己都合退職比率：1.04%
- ❷定年退職者の再雇用率：92%（対希望者：100%）
- ❸障がい者雇用率：1.8%
- ❹育児休業取得者復職率：100%
- ❺時短勤務は小学3年終了まで1日1時間、30分単位で取得可能
  育児短時間勤務制度と併用すると5時間勤務が実現

2011年度報告（単体）

キャリア開発支援

従業員の個性を尊重し、一人ひとりの成長やキャリアアップを実現するため、高砂香料グループでは積極的に育成支援に取り組み、働きがいのある職場づくりを推進しています。

高砂カレッジ

「高砂再発見。」をテーマに、全従業員を対象に2009年5月「高砂カレッジ」を開講しました。先輩社員から後輩社員へ歴史や知識を伝承し、各部門に対する理解を促進し、さらにグローバル化への対応力を養う研修を実施しています。

「高砂カレッジ」にて従業員間のコミュニケーションを推進

VOICE

Iswanto Juandy Tjeng
General Manager
Takasago International (Singapore) Pte.,Ltd.

日本での経験をシンガポールで活かす

1994年に高砂インドネシアに入社後、2005年にグローバル・アカウント・マネージャーとして日本に着任しました。日本語に問題があったにもかかわらず重要なポジションを任され、国際事業本部へ異動後も、フレーバーGSPCオフィスの責任者として戦略立案などに関わりました。日本では高砂のグローバルネットワークや顧客・カテゴリーの知識、コミュニケーション力や論理的思考などを学び、この経験は2012年8月から赴任しているシンガポールでの仕事にも大いに役立っていると思います。

Making use of my Japan experience in Singapore

After joining Takasago Indonesia in 1994 as Marketing Manager and then serving as Country Manager, in 2005 I assumed the post of Manager of Global Accounts Group in Japan. Although my Japanese language ability was poor, I was assigned to a succession of important positions. Following my transfer to GBHQ, I took charge of strategy planning as a manager of the Flavor GSPC Office, through which I gained the first-hand knowledge of Takasago's global network, its target customers and markets. I also improved my communication skills and logical ways of thinking. I am confident that I am greatly benefiting from, and effectively applying this experience in fulfilling the responsibilities of my new position in Singapore, which I have served in since August 2012.

人権尊重と差別の排除

高砂香料グループでは、国籍や性別、信条、社会的身分のほか、障がい者差別、外国人差別などのあらゆる差別を決して許しません。中長期計画「EHS100」の「基本的人権の尊重」にて、児童労働、個人の尊重、障害者雇用、取引先の判断を明確にするとともに、具体的な活動として以下の取り組みを進めています。

基本的人権の尊重

- 15歳未満の労働禁止
- 人権教育の実施
- 障がい者雇用機会創出
- 高砂香料サプライヤー行動規範の取引先への配布

ダイバーシティの推進

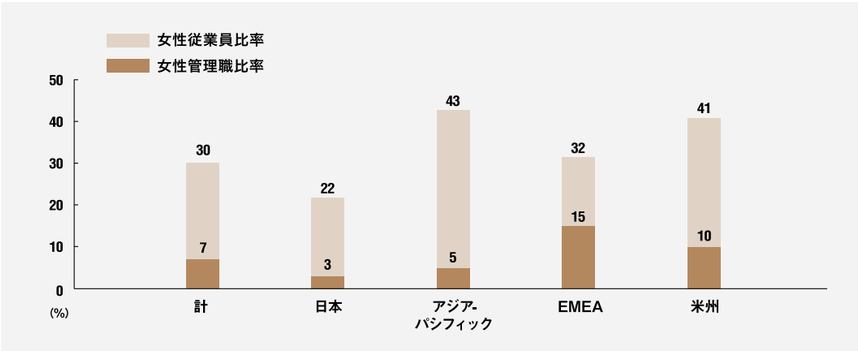
多様な人材が特性や個性を活かし、一人ひとりがいきいきと働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。女性管理職や外国人比率を増やしていくとともに、冊子・Webサイトによる啓発活動、勉強会などを実施していきます。

ワークライフバランスへの配慮

仕事と生活の充実を目指し、高砂香料グループではワークライフバランスの実現に取り組んでいます。サービス残業の禁止や時間外労働の削減などにより労働時間の適正化を図るとともに、業務改善による効率の向上、年次有給休暇の取得率の向上による仕事と育児・介護の支援を推進しています。

また、本社では、毎月第3水曜日を「ノー残業デー」とし、継続的に運用しています。

■ 女性従業員比率と女性管理職比率



女性従業員比率＝女性社員数÷総社員数×100
女性管理職比率＝女性管理職数÷総社員数×100

従業員満足度調査

理想の企業風土や職場環境に近づけるため、高砂香料工業では従業員を対象に、自己申告による従業員満足度(ES)調査を実施しています。この調査では「職場環境」を重視しており、調査で判明した課題は改善に努め、さらに働きやすい職場を目指していきます。

従業員の安全と健康

高砂香料グループでは「5S・カイゼン活動」に取り組んでいるほか、事業所ごとに「安全衛生委員会」を設置し、従業員の安全確保および心と体の健康を支援しています。労働災害については「EHSガイドライン」を制定し、発生防止に努めています。2011年度の労働災害発生件数はグローバルグループ全体で44件、度数率3でした。これからも通勤時・業務時における安全強化に努めていきます。

■ 労働災害集計

項目	単位	計	日本	アジア・パシフィック	EMEA	米州
延べ実労働時間数	時間	15,067,844	11,296,517	1,447,579	829,349	1,494,399
災害発生件数	件	44	7	8	17	12
度数率※		3	1	6	20	8

※度数率：休業1日以上を要する災害発生件数 ÷ 延べ実労働時間数 × 1,000,000
度数率は高砂香料グループの製造事業所および研究所全社員および派遣社員を含む(交通事故は除外する)。

健康維持・増進を支援

従業員の健康維持・増進のため、定期健康診断のほか、ポータルサイトでの情報発信などを行っています。メンタルヘルス管理では、セルフチェックやラインケア、健康管理担当者および専門家によるケアを推奨するとともに、時間外労働が50時間を超えた従業員には産業医との面談を設けています。

■ 健康診断受診率（定期健康診断および人間ドック）

項目	単位	計	日本	アジア・パシフィック	EMEA	米州
対象者数	人	2,866	1,457	676	509	224
受診者数	人	2,463	1,450	564	312	137
受診者率	%	86	100	83	61	61

VOICE

高砂香料工業
フレグランス
マーケティング部
飯沼 香

育児休暇取得者が多く、復帰後の心配がない

長女の出産を機に育児休暇を取得しました。高砂には仕事と家庭を両立している先輩ママが多く、休暇取得や復職後が想像しやすく、安心して休暇を取得することができました。育児休暇中は子どもとゆっくり過ごすことができ、また、子どもを通じて得た視点は貴重な経験につながっています。今後もワークライフバランスを向上させる制度の充実を願っています。

お客様とのかかわり

[お客様]

飽くなき研究開発による高品質への追求や、適正な情報開示、グローバルなサプライヤーとのパートナーシップの強化などに努め、信頼され続ける企業として成長していきます。

品質マネジメント

高砂香料グループでは、製品をご利用いただくお客様のニーズに応えるため、早くから品質マネジメントシステムの取得を行っております。国内では、1997年に磐田工場で香料業界国内初のISO9001:1994認証取得。2003年10月には、高砂香料本体でのISO9001:2000の統合認証を行い、生産拠点を持つ国内関連会社への拡大認証を進めました。海外ではシンガポールが、2001年6月にISO9001:2000を認証取得し、上海・スペイン・メキシコ・フランスの順に各国で認証取得が行われました。また、食品安全面に関して、フードチェーンの一端を担う原料メーカーとして、より安全・安心な商品を供給し続けるため、2010年10月にグローバルにおけるGFSIスキームの運用を決定しました。現在、食品事業を展開する日本・上海・マレーシア・ドイツで認証がなされ、アメリカ・メキシコ・ブラジル・シンガポールで取得に向けた取り組みを進めています。

グローバル全拠点のISO14001統合認証取得

ISO14001の登録事業所17サイトにおいて、2011年12月にISO14001の統合認証を取得し、グローバル生産拠点における統合認証が完了しました。環境マネジメントシステムの構築により、グループとしてのガバナンスを強化し、より効率的で実効性の高い環境活動を推進していきます。

研究開発

研究開発は、高砂香料グループの技術立脚の精神を支える事業活動の柱です。研究開発グループを通じて、社会が求めるフレーバーやフレグランスを創出することで、カスタマーファーストを実現するとともに、社会全体のQOLの向上を目指していきます。

4事業活動を通じてお客様に貢献

高砂香料グループの事業は、「フレーバー事業」「フレグランス事業」「アロマケミカル事業」「ファインケミカル事業」の4事業で構成されます。平塚にある研究開発本部では、合成技術や分析技術、新事業につながる基礎技術などの研究開発が進められ、高品質な製品はもとより、社会全体の満足度を高める製品づくりの基盤を支えています。

平塚工場に隣接する研究開発本部

VOICE

高砂香料工業
経営企画部
柏木 紀信

グローバル経営の確立を目指して

国際標準規格も多岐に渡り規格化されており、すべてを認証することが必ずしも良い選択とは思いませんし、社内外のステークホルダーのためにならなければ、グローバル経営のツールとしての意味合いが薄れてしまうと常に考えております。語学の壁はありますが、世界の製造拠点で、国際標準規格が最適に利用できるようサポートできればと思います。

お取引先とのかかわり

[お取引先]

高砂香料の事業活動は、ステークホルダーであり事業のパートナーでもあるお取引先様に支えられています。これからも公平で良好な信頼関係を築き、お取引先様とともに発展していきます。

サプライチェーンマネジメント

高砂香料では、サプライヤーとの強固で互恵的な関係が重要であると考え、調達における透明性、公平性を高めるためサプライチェーンのマネジメントを構築しています。高品質で、安全・安心な製品を確実に継続的に供給し続けるために、これからもサプライヤーと健全なパートナーシップの構築を推進していきます。

調達における購買方針

グローバルな調達を進める高砂香料では、サプライヤーと対等で公正な関係を築くため、「コーポレート購買ポリシー」および「コーポレート購買ガイドライン」を制定しています。これらは、国内の購買部員をはじめ、高砂グローバルの各拠点で購買業務に携わる全員に適応されます。

私達は、世界の持続的な発展に貢献するため、実現し得る最も経済的な価格で、安全・安心そして信頼できる原料を調達します。それらの原料は、当社、顧客、産業界、品質、各国の法規制(それぞれの国の法律、安全に関した法令、そしてその他の必要な条件)すべてを満たすものです。

■ コーポレート購買ポリシー

購買活動において以下のことを実施します。

- **品質・コスト・安定供給の3つの要素を追求します。**
- **法令遵守を徹底し、人権の尊重、公正、公平な取引、環境保全に配慮致します。**
- **地域文化を尊重し、高砂香料グループとサプライヤーとのパートナーシップを築きます。**

■ コーポレート購買ガイドライン

- 国際購買
- 公正な態度
- 職務および権限
- 調達
- 購買手順
- 品質要求事項
- サプライヤーとの関係管理(SRM)

サプライヤーとのパートナーシップの強化

高砂香料グループでは、各サプライヤーに対し、サステナビリティや企業の社会的責任を重視するサプライチェーンに関する方針を理解してもらうよう積極的に働きかけています。有効な評価システムの運用などを通して、今後も信頼できるパートナーから高品質な原料を安定的かつ確実に調達できる体制を維持していきます。

VOICE

高砂香料工業
購買部
榎本 慎一

サプライヤーへの監査をグローバルな視点で強化します

昨今、調達する原料の源流管理がますます重要となっており、調達パートナーであるサプライヤーへの計画的なオーディットを実施しております。サプライヤーでの品質管理体制や原料の安全性の確認に加え、社会性や環境という視点をさらに強化しています。現在、海外関連会社の購買チームとの連携により、グローバルで共通使用する「Supplier questionnaire」および「Audit checklist」の作成を進めており、国内外問わずサプライヤーへのオーディットの実施強化を進めております。

株主・投資家とのかかわり

[株主・投資家]

健全かつ透明性の高い企業経営による安定的な成長で、株主の皆様に適切に利益を還元するとともに、国内外の株主・投資家の皆様と良好なコミュニケーションを図っていきます。

IR活動の実施

高砂香料グループでは、企業情報の適時・適切な開示を行い、広く社会に対して透明性を高めることを企業憲章に掲げ、積極的な情報開示に努めております。

IR説明会

高砂香料グループでは、期末や第2四半期の決算発表後、および中期経営計画の公表時に投資家・アナリスト向けに説明会を開催し、IR室が窓口となり株主や投資家とのコミュニケーションの充実を図っております。個人株主の皆様には「株主通信」を発送し、IRサイトにおいて、関連資料やプレスリリースなどを公開しています。今後も皆様に高砂香料グループへの理解を深めていただけるよう、IR活動の向上に努めていきます。

投資家への決算説明会の様子

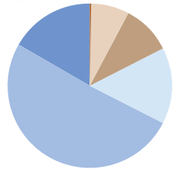
株主分布・配当金の報告

高水準の利益を確保できる株主重視の経営体質を目指し、安定配当の継続、ならびに業績水準を勘案した配当を実施することを基本方針としています。

2012年3月期の配当につきましては、配当の基本的な方針を踏まえ、中間配当および期末配当は1株当たり4円を実施し、年間8円の配当としています。内部留保金の使途につきましては、コア事業の拡大を目指した生産設備、研究開発、情報関連等の投資に充当するとともに、財務体質の強化に活用します。

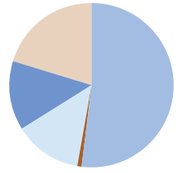
■ 株式分布図

所有株式数別構成比



- 1,000株未満 0.28%
- 1,000～5,000株未満 7.52%
- 5,000～50,000株未満 9.96%
- 50,000～500,000株未満 14.97%
- 500,000～5,000,000株未満 50.81%
- 5,000,000株以上 16.47%

所有者別構成比



- 金融機関 51.42%
- 金融商品取引業者 0.80%
- その他法人 13.11%
- 外国人等 13.34%
- 個人その他 19.93%

[注]上記区分以外に自己株式1,404,382株があります。

Environmental Report

環境報告

高砂香料グループは、「地球環境に配慮し、地域社会を大切にした、世界の人々から共感を得られる企業を目指す」を経営基本方針に掲げ、事業を通じて環境への負荷を低減することに努めています。

環境ビジョン

持続可能な社会の実現を目指す高砂香料グループでは、「環境保護」「社会的責任」「経済的効率」をサステナビリティに掲げ、グループ一丸となって環境負荷の低減に取り組みます。

EHS宣言

高砂香料グループは、Environment(環境)、Health(健康・衛生)、Safety(安全)の頭文字をとった「EHS宣言」を2008年に公表し、従業員および工場周辺地域の皆様の健康と安全を守り、地球環境の保全に貢献していくことを目指しています。また、「EHS宣言」を達成するため、中長期計画「EHS100」を策定し、取り組んでいます。

EHS宣言

高砂香料グループは、技術立脚の精神に則り、社会に貢献するグローバル企業として、人々の健康と安全を守り、地球環境保全に貢献する企業を目指します。

1. **私たちは、EHS活動を優先して取り組みます。**
2. **私たちは、EHS活動の推進を地域・社会と協調して行います。**
3. **全ての事業活動において、環境負荷の低減、安全の確保、及び従業者の健康保持増進に努めます。**
4. **EHS活動の推進に必要な教育・訓練を、計画的かつ継続的に実施します。**
5. **関係法令や規制を遵守することはもとより、EHSの継続的改善に努めます。**
6. **EHS監査を実施し、EHSの維持向上に努めます。**
7. **緊急事態発生時の被害を極小化するため、体制の強化と対応の円滑化を図ります。**
8. **本宣言は、社内外に公開します。**

環境マネジメントシステム

高砂香料グループはこれまで、生産事業場ごとにISO14001の認証を取得し、環境活動を展開してきました。しかし、近年の世界的な環境規制の強化に対応すべく、「EHS100」のフェーズⅠ(2009～2011年度)では「国内外生産拠点でISO14001認証を取得」を目標に掲げて取り組み、2011年12月にグローバル全生産拠点におけるISO14001統合認証(認証登録番号:JP11/07II35)を取得しました。

国内外に広がるサプライチェーンに即した環境マネジメントシステムの構築により、企業グループとしてのガバナンスの強化を実現するとともに、より効率的で実現性の高い環境活動を推進していきます。

■ ISO14001登録範囲状況

	登録範囲	
国内	高砂香料工業株式会社	EHS室
		平塚工場
		磐田工場
		鹿島工場
	高砂スパイス株式会社	秦野工場
	高砂珈琲株式会社	磐田工場
	株式会社高砂ケミカル	掛川工場
	高砂フードプロダクツ株式会社	
海外	Takasago Europe perfumery Laboratory S.A.R.L	Factory
	Takasago International Corp. (U.S.A.)	Flavor Factory
	Takasago International (Singapore) Pte., Ltd.	Flavor Factory Fragrance Factory
	Takasago De Mexico S.A. De C.V.	
	Takasago Europe G.m.b.H.	
	Shanghai Takasago-Union Fragrances & Flavors Co., Ltd.	Pudong Factory
	Takasago International Chemicals (Europe) S.A.	
	Takasago International (Guangzhou) Co., Ltd.	

事業活動における環境影響(マテリアルフロー)

省エネルギー、省資源、資源の有効利用などの環境活動を積み重ねることにより、事業活動による環境負荷の軽減に取り組んでいます。2011年度の環境目的は「エネルギー由来の二酸化炭素放出の削減」「水資源保護の推進」「省資源とリサイクルによる持続可能性の促進」でしたが、いずれも未達に終わりました。今後ともグローバルグループ全体で、課題や取り組み状況を迅速かつ的確に把握し、いっそうの改善に向けて努力していきます。

■ 2011年度事業活動における環境影響

インプット(投入) **INPUT**

エネルギー				
電力	98,072	MWh	961,875	GJ
燃料				
気体燃料			1,097,438	GJ
蒸気	28,061	t	28,622	GJ
都市ガス	17,177	m³	769,600	GJ
LPG	690	t	35,044	GJ
LNG	4,838	t	264,172	GJ
液体燃料	1,529	kl	59,109	GJ
A重油	1,203	kl	47,054	GJ
軽油	188	kl	7,104	GJ
灯油	105	kl	3,862	GJ
ガソリン	31	kl	1,089	GJ
固体燃料	0	t	0	GJ
石油コークス	0	t	0	GJ
石炭	0	t	0	GJ
	合計		2,118,422	GJ
廃油(焼却量)	2,700	t	93,409	GJ
水資源				
購入・汲上			3,269,012	m³

原料	単位 t
原料	57,647
消耗品	86
包装材料	58,896

世界4極体制

日本

アジア-パシフィック

EMEA*

米州

*EMEA
(欧州、中東、アフリカ)

生産(製品)t

50,891

出荷

顧客

OUTPUT **アウトプット(排出)**

大気				
CO_2	110,876	t		
NOx	10	t		
SOx	1	t		
ばいじん	2	t		
総排水量			1,530,726	m³
BOD	82.3	mg/l	126.0	t
COD	210.4	mg/l	322.1	t
SS	52.8	mg/l	80.8	t

産業廃棄物				
廃棄物等発生量	115,056	t		
再資源化量	104,047	t	90.43%	
工場内埋立量	0	t	0.00%	
外部埋立量	1,317	t	1.15%	
最終処分量	1,317	t	1.15%	
紙類の排出				
総発生量	451,281	t		
再生処理委託量	377,279	t	83.6%	
燃えるごみ(最終処分)	74,002	t	16.4%	

対象期間:2011年4月～2012年3月

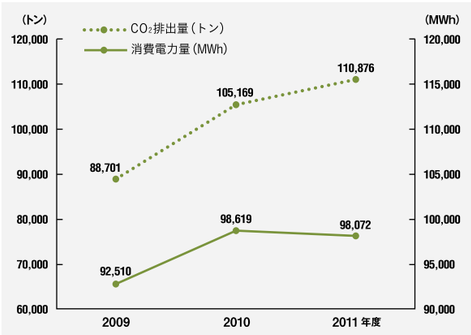
T-ReCSの導入による環境データ管理

高砂香料グループでは、国内・海外拠点の各種環境データを集約し、管理する環境経営情報システム「T-ReCS(Takasago Responsible Care System)」を2010年に導入しました。

温暖化対策の推進

高砂香料グループでは、温室効果ガスを削減し、地球温暖化の防止に貢献すべく、事業活動に伴うCO_2排出量の削減を推進しています。

■ 消費電力量とCO_2排出量の推移



ハイブリッド車

国内グループの社用車(営業車)において、ハイブリッド車の導入を積極的に進めています。2011年度は6台を導入し、ハイブリッド車比率は49%となりました。

環境低負荷型フォークリフト

国内グループの全生産拠点において、環境負荷の低いバッテリー式フォークリフトへの代替を進めています。2011年度は5台を導入し、バッテリー式フォークリフト比率は73%となりました。

■ 環境低負荷型車両導入の推移

	車両の種類	2009	2010	2011 (台)
オフィス(社用車)	ガソリン・ディーゼル等	54	48	36
	ハイブリッド	23	29	35
工場(フォークリフト)	ガソリン・ディーゼル等	33	32	30
	LPG・天然ガス等	16	10	6
	電気	88	94	99

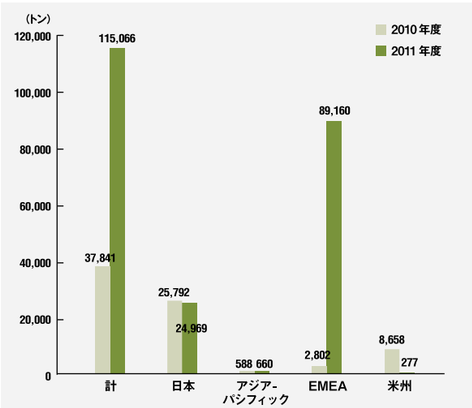
産業廃棄物の再資源化

廃棄物に関する考え方や規制は、国や地域により大きく異なります。高砂香料グループでは、グループ全体で年間発生量の1.1%が最終的に埋立処理されていますが、今後は環境データの一元管理などを活用し、2020年度までに再資源化100%を目指します。

2011年度は、EMEA※で廃棄物の発生量が増加していますが、果汁の廃棄を新たに加えたことによるものです。環境データの「見える化」により、産業廃棄物における再資源化をこれまでの事業所単位からグローバルグループ全体の取り組みへと拡大し、製造工程などで発生する産業廃棄物のさらなる削減を推進しています。

※ EMEA:ヨーロッパ、中東およびアフリカ
(Europe,the Middle East,and Africa)

■ 産業廃棄物の発生量



化学物質の管理・排出削減

高砂香料グループでは、化学物質の適正管理および法規制への対応を強化し、使用量の削減を推進しています。また、事業活動で使用している化学物質の情報を「T-ReCS」に集計し、管理することで削減に役立てています。

国内での取り組み

高砂香料グループでは、MSDS(化学物質等安全データシート)を用いて対象となる化学物質の情報を事前に提供するとともに、PRTR法※の対象となる化学物質は、法令に則って実態を把握し、報告を行っています。

高砂香料の国内グループが2011年度に取り扱ったPRTR対象化学物質は43品目で、大気排出量は35.7トン、公共水域への排出量は6.1トンでした。これからも排水処理システムの処理能力の向上、脱臭装置の設置などを進め、環境への排出量抑制に取り組んでいきます。

※ PRTR法…特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

WEB http://www.takasago.com/ja/aboutus/sustainability/ehs/protection/chemicalsubstance.html
PRTR物質別排出先別集計表はWEBをご参照ください

海外での取り組み

製品に含まれる化学物質の安全性や管理において、ヨーロッパをはじめ規制化が進んでいます。高砂香料グループでは、REACH規制※への対応として取扱製品について予備登録を2008年までに完了しています。現在、一部の製品については本登録まで完了しており、残りの製品群についても各期限までに遅滞なく登録完了するよう、登録物質の選定と作業に取り組んでいます。

※ REACH規制…Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals。化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則

グリーン調達・グリーン購入※

高砂香料グループでは「コーポレート購買ポリシー」および「コーポレート購買ガイドライン」を制定し、できるだけ環境負荷が小さい製品やサービスを提供する事業者より優先して調達・購入を行うグリーン調達・グリーン購入に取り組んでいます。

※ グリーン購入とは、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。また、グリーン調達は、製品を製造するために必要な原材料や部品、設備などを調達する時、環境負荷の少ないものから優先的に選んでいくこと。

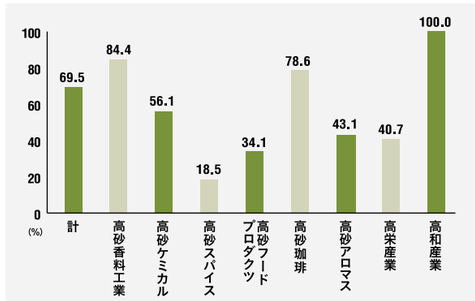
グリーン調達

「コーポレート購買ポリシー」に基づき、環境活動に積極的かつ協力的なサプライヤーから製品やサービスを調達するグリーン調達を推進しています。また、Supplier questionnaireに関連するチェックシートを配布してサプライヤーの自主点検を呼びかけるとともに、必要な場合は監査を実施しています。

グリーン購入

国内グループの2011年度のグリーン購入率(金額比)の平均は、69.5%に達しています。2010年度は、66.8%でグリーン購入率は増加しました。

■ グリーン購入状況



VOICE

高砂香料工業
鹿島工場
額賀 康雄

食品安全への配慮を実施しています

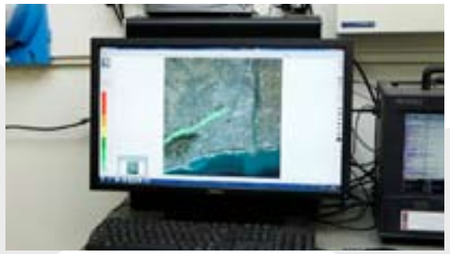
私たち鹿島工場の環境施設係は、ユーティリティー設備や廃棄物、排水処理、緑地などの管理を担っています。以前よりコンプライアンス遵守の活動を行ってきましたが、近年は食品工場の必須項目である食品安全面においても、私たちが管理する排水処理、廃棄物、緑地などの管理がさらに重要視されています。2012年1月にFSSC22000認証を取得しましたが、今後も日々勉強を続け、さらに食品安全への配慮を高めていきたいです。

製造拠点・事業所での活動報告

高砂香料工業は、日本国内だけではなく、グローバルにEHS活動を推進しています。国内の製造拠点、そして海外拠点での環境負荷低減への取り組みや地域コミュニケーションなどの最新活動を報告します。

平塚工場（神奈川県）

研究開発本部を併設し、フレーバーとフレグランスのブレンド（調合）をメインに製造



環境施設部内に臭気監視モニターを設置

臭気苦情 **0件**

2009年度から3カ年計画で「無臭化プロジェクト」に取り組み、工場内の臭気測定や脱臭装置の試験装置を仮設置し、苦情件数も0件と一定の成果を出しました。2012年度以降は臭気対策委員会として工場内の臭気測定により臭気発生状況の詳細なデータを集めて臭気対策を進めます。

また、東日本大震災を受け、電力需給制限が発令された2011年は発電機を4台設置。地震防災訓練や消火訓練を実施し、緊急事態発生時の体制強化に注力しました。2012年度は電力需給制限が発令されませんが、さまざまな情報が飛び交う中で発電機を2台設置して非常時に備えると同時に平塚工場全員で節電を進め2012年夏期の電力需給に対応をしていきます。

-73.9kℓ

フォークリフトのガソリン型からバッテリー型への切り替え、高反射型の遮熱塗料や遮熱フィルムなどを用いて冷暖房効果を高めることで、環境負荷低減活動に力を入れています。2011年度は廃棄物置き場や消火栓ポンプ室の照明にはLED照明を取り入れ、その他の事務所、控え室等の照明をRF型照明器具（蛍光灯の1.4倍の高効率）に更新して、2010年度比およそ原油換算で73.9kℓのCO_2排出量削減をしました。2012年度もさらなるCO_2削減を目指す計画を進めています。

天井にファンをつけて、室内の温度設定を適温に（左）
夏場の電力需要逼迫への対策として、アラートシステムによる電力デマンド管理を強化（上）

鹿島工場（茨城県）

清涼飲料等に使用される柑橘系エッセンスやバニラ、スパイスなどの天然物抽出液、コーヒーやウーロン茶などのアロマエキスを製造

磐田工場（静岡県）

ℓ-メントールを主軸としたアロマケミカルや医薬中間体を製造

50周年

磐田工場が1968年に開設してから早44年。これまで、地域の皆様と里山の保全に取り組むなど、地域に根ざした環境保全を継続してきました。2011年度は、緊急事態管理規定に則った安全な体制づくりの強化を推進しました。開設50周年に向け、より安全・安心な工場を目指していきます。

-4.37%

LNGタンクの液化天然ガスを注入。およそ88kℓの保管が可能

「ISO14001磐田工場環境目的・目標」に沿って省エネに努めています。2011年度の電気・蒸気のエネルギー使用量は以下のように目標を達成しています。

電 気：（目標値）168,936（CO_2換算排出量kg／生産量1,000t）
（実　績）168,348
蒸 気：（目標値）272,632（CO_2換算排出量kg／生産量1,000t）
（実　績）185,058
（※いずれも原単位）

CO_2削減の項目においても目標を達成しました。また、8月からは中部電力との契約電力を下げて節電にいっそう取り組み、2011年度の電力量は対前年比−4.37%を達成しました。2012年度はCO_2排出量削減2%を目標に、さらに節電に取り組みます。

2004年にSQF2000（安全で高品質な食品製造規範）を認証取得しましたが、新たに、EU食品・飲料産業連合（CIAA）の支援のもと開発されたFSSC22000（食品安全マネジメントシステム）の認証を2012年1月に受けました。これは、食品安全を向上させ消費者の信頼を高めるためのグローバルな食品安全システムの規格です。こうした取り組みを通じて、食の安全と安心をお届けしています。

FSSC22000

安全衛生 健康対策

職場の安全衛生パトロールと5Sカイゼンパトロールを毎月行い、11月には外部専門講師による衛生改善講習会を実施しました。排煙装置等を設置して健康被害の防止に努めるとともに、産業医や看護師による健康相談や現場巡視による作業環境の確認など、安全衛生や健康対策を推進しています。

高砂ケミカル（静岡県）

高砂香料グループの合成部門を主に担っている製造拠点

45%

従来、事業活動に必要な水源を地下水から汲み上げて使用していましたが、水のサステナビリティの観点から、約2km隔たった大井川水系から工業用水を取水する貯水施設を2009年8月に建設。地下水を保全し、工業用水を安定的に確保しています。2011年度は、使用した冷却水425,932トンのうち45%が大井川水系のものでした。今後は、2014年度末までの冷却水総使用量を2010年度使用量に対して10%削減を計画しています。

ISO14001

天然原料を取り扱う工場として、また、環境負荷低減を目指すグローバル企業として、2011年にISO14001のグローバル認証、ISO22000の認証を取得しています。

天然素材を原料として取り扱う工場としては、異物対策の徹底は必要不可欠です。昨年はカラー選別機を導入し、自前で除去する技術改善に取り組んでいます。異物の少ない原料を選び、製造ラインで異物を混入させない、総合的対策をしています。

高砂スパイス（神奈川県）

胡椒をはじめとする各種香辛料の粉末加工やカレールー、健康食品などを製造

高砂フードプロダクツ（静岡県）

さまざまな食品に使用される粉末香料をはじめ、果汁・天然調味料・色素などの食品添加物を製造

バイオマス活用

2011年より、事業活動で生じるコーヒーかすを利用したバイオマス事業の工事を開始し、2012年に本格稼働予定です。バイオマス活用により年間1,000トンのCO_2排出量削減を見込んでおり、工場全体では2011年度比−10%を目指しています。

津波対策として従業員全員にライフジャケットを用意し、工場の事務所屋上を補強して避難場所として整備、さらに緊急地震速報システムを導入し、ネットワーク機器・電話放送設備を2階へ移動しました。さらに排水処理場の耐震化補強および非常用発電機を2基設置するなど、地震に関する防災アセスメントを実施しています。

−4.8%

2011年度、磐田工場全体のCO_2排出量目標は−1%でしたが、−4.8%を達成しました。

コーヒーを焙煎する際の臭気対策においては、白金触媒式脱臭装置による燃料の削減、抽出かす排出時のウォータースクラバーによる臭気削減、抽出かすからの排水の滴りを防止するスクリューフィーダーの設置など、各工程で対策に力を入れています。

高砂珈琲（静岡県）

加工用のレギュラーコーヒーと、豆から抽出したコーヒーエキスを製造

ブラジル

Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.

排水処理プラントの導入により排水の再利用を積極的に推進

By introducing a wastewater treatment facility, we are proactively making efforts to reuse wastewater.

90%

ブラジル工場では、フレーバーとフレグランスをメインに製造しているため、製造時に発生する排水の処理は大きな課題でした。2011年度に導入した排水処理プラントにより、排水の90%を再利用することを目標としました。また、排水内の有機物を取り除いた後、油を分離、砂と炭でろ過し、さらに再度フィルターを通し、消毒して、近隣の川に排水。また、2012年度は工場内の植物、トイレ、掃除用にも排水からの再利用水の使用を予定しています。

One of the largest issues facing our factory in Brazil, which primarily manufactures flavors and fragrances, is the treatment of wastewater generated during the manufacturing process. To solve this issue, a new wastewater treatment facility was introduced in fiscal 2011 that aimed to reuse 90% of the wastewater generated in the factory. In fiscal 2012, treated wastewater will also be used in toilets as well as for watering plants and cleaning in the factory. Wastewater discharged to a nearby river goes through multiple treatment processes before discharge, including removal of organic substances and oil, filtration through sand and coal, filtration through filters, and sterilization.

グリーン委員会

Green Committee

ISO認証取得の支援担当として発足した、高砂シンガポール・グリーン委員会は、認証取得の基準を満たすために、従業員の意識を高めて行動の変化を促すことを目的とした取り組みを数多く行ってきました。2010年3月に開催された国際イベント「アースアワー」の際は、指定の時間帯には極力電気を使わないよう呼びかけたり、生産スタッフを対象にした「エコライフのこつコンテスト」を開催したりしました。今後もさまざまな側面から、従業員一丸となって環境活動に取り組みます。

The Takasago Singapore Green Committee, which was established and organized for the purpose of supporting the company's efforts to meet ISO certification requirements, has implemented a variety of initiatives to raise employees' awareness and encourage them to change their daily behavior. Specifically, when the international event, Earth Hour, was held in March 2010, the committee organized the Eco Life Contest that targeted employees working at manufacturing sites, while encouraging all employees to refrain from using electricity during the designated hour. We will continue to be united in the various efforts we make to protect the environment.

シンガポール

Takasago International (Singapore) Pte., Ltd.

現在維持・管理しているISO9001とHACCPに加え、ISO14001とOHSAS18001の認証取得を完了

We have obtainted ISO 14001 and OHSAS 18001 certifications in addition to ISO 9001 and HACCP certifications that we have already acquired and presently maintain.

ドイツ

Takasago Europe G.m.b.H.

設計段階から環境保護に配慮された新社屋には、熱回収システムを採り入れた換気装置が設置された研究室もあり、省エネに貢献

Our new company building, designed and built in consideration of environmental protection, has excellent energy-saving features, including a heat recovery system installed in a laboratory.

地域の活動

Local activities

環境負荷低減活動の推進と併せて、社会的責任を担う一企業として、地域との共生にも前向きに取り組んでいます。ボランティア消防団をはじめとする地域の救急活動に参加する従業員は、消火訓練や救助活動に参加する場合、職務を免除されます。さらに専門知識を生かして、危険回避や救急処置に関する計画策定にも参画しています。

As a socially responsible company, we devote our efforts not only to reducing our environmental impact but also to contributing to the local communities in which we operate. For example, employees who are members of a local emergency rescue squad such as a volunteer fire brigade can engage in rescue activities or training during work hours. Furthermore, in utilizing their expertise, employees are contributing to the preparation of local disaster prevention plans and emergency measures.